

図書館報

平成14年3月22日発行 第70号

巻頭言	1)
附属図書館利用案内	2)
函館分館利用案内	4)
旭川分館利用案内	6)
釧路分館利用案内	8)
岩見沢分館利用案内	10)
平成13年度 附属図書館からの案内	12)
投稿	14)
平成13年度 教職フィルムライブラリー	
新収ビデオソフト一覧	19)
教職員著作物受贈一覧	22)
附属図書館ホームページ案内	24)

あなたの情報源 ～今、あなたはどんな情報を探していますか。～

附属図書館長
君 尹 彦

JR、地下鉄、それにバスを乗り継いで通勤する私は、車中でいつも携帯電話を手離せない学生に出会い、この人は今、どんな情報を求めているのかと顔をのぞき込みたくなります。車内放送が電源を切って下さいと何度頼んでもききめはなく、乗客からニラミつけられる学生に、私が叱責受ける思いです。携帯電話の利便さはわかっていますが、時と場所をわきまえぬ使い方は情報化社会での正しい暮らし方とはとても言えないでしょう。

人工衛星が地球を回り、コンピュータが休みなく動き続ける今日であれば、時におくれず、一刻を争って先へ走り出さないと世の進歩発展から取り残されてしまうと心配している人もいます。いつも携帯を手にしてありあまる情報にむやみやたらと飛び着いていませんか。情報に取り囲まれるだけで満足したりすることはありますか。彼と同じ機種を買ったからもう安心、そんなことはないですね。豊富な情報の渦にもまれる幸せに浸るだけはいけないのです。その中から、本当に自分が求めているもの、自分に役立つもの、自分を生かし成長させてくれる有益な情報を選び出す力を身につけなければなりません。

図書館もデジタル化の波にあらわれています。

図書館によっては携帯電話で図書館の資料を探せます。又、外国雑誌を例にとりますと、本のような冊子体から電子ジャーナルに変わりつつあります。本学では「Oxford University Press」、「Wily Inter Science」、国内雑誌では「J-STAGE」の各電子ジャーナルを図書館でも研究室、演習室からでも学内LANに接続しているパソコンであればアクセスできますし、新年度は「EBSCOhost」の数種のデータベースを拡充する予定です。

大学で学ぶことはいろいろあるでしょうが、正確な情報を収集する手段を身につけ、その適否を判断し、学習に役立てることは、どの分野の勉強にも共通する必須条件なのです。図書館を上手に使うことがこの条件を身につけることになるのです。

あなたがほしい情報の手がかりは、図書館にきっとあります。図書館は確かな情報をいつもあなたに供給しています。

(きみ のぶひこ)

附属図書館 (中央館)

Main Library (Sapporo Campus Library)

〒002-8503 札幌市北区あいの里5条3丁目
TEL(011)778-0288(運用係) FAX(011)778-7052
E-MAIL unyo@atson.sap.hokkyodai.ac.jp



大学の正門を入ると左側に見える3階建ての建物が図書館です。
図書館への入退館は、2階からとなっています。次頁は、館内の案内図です。

開館時間

月曜日～金曜日	9:00～22:00(休業期間中は17:00)
土曜日・日曜日・祝日	10:00～17:00(休業期間中は閉館)

休業期間とは、春期・夏期・冬期・学年末の学生の休業日です。

休館日

本学創立記念日(6月1日) 年末・年始(12月29日～1月3日)
その他、臨時休館については、掲示等でお知らせします。

貸出冊数・貸出期間

学部学生・科目等履修生等	10冊以内	14日以内
大学院生・特別専攻科学生	20冊以内	30日以内
教職員	40冊以内	60日以内
名誉教授・図書館長の許可を得た者	4冊以内	14日以内

*貸出の際には、学生証又は図書館利用証が必要となります。

資料・情報を探す

◎OPAC(Online Public Access Catalogue:オンライン目録)検索

パソコンを使って、北海道教育大学の各キャンパスで所蔵している資料を探します。

◎CD-ROM検索

パソコンを使って、各種情報・項目等を検索できるもので、次のようなCD-ROMをオンラインで利用できます。

- ・ERIC(1966～2001) ・雑誌記事索引(1975～2001)
- ・戦後50年朝日新聞見出しデータベース(1945～1995)
- ・130万語大辞典 ・世界大百科事典 他

◎インターネットを通じて情報を入手

パソコンを使って、インターネットを通じて本学や当館のみならず、他大学・機関等の情報を入手できます。

◎・「北海道新聞記事データベース(収録記事1988年7月～)」も利用できます。

図書館を利用するうえでわからないときは

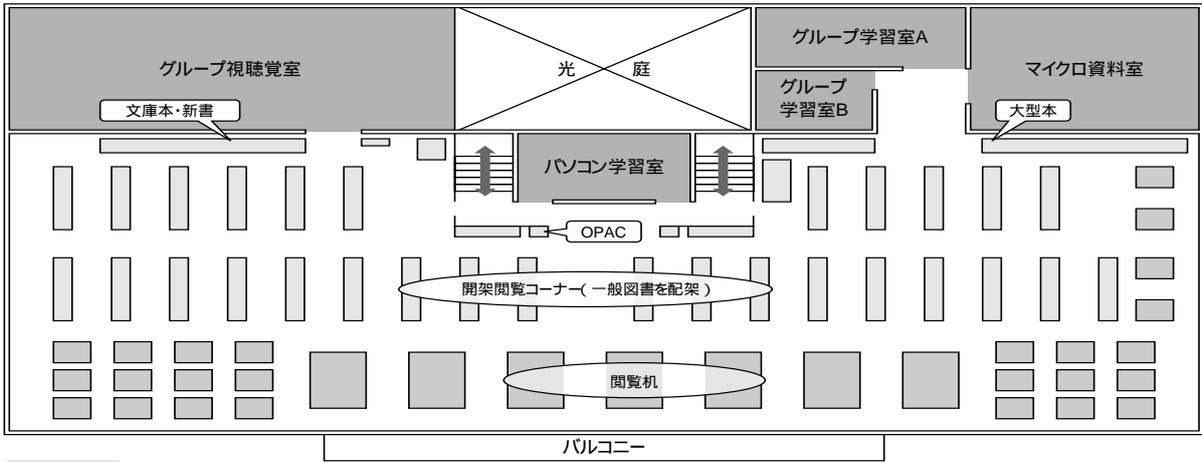
カウンター職員又は次の係にお尋ねください。

運用係(内線288)→貸出・返却、督促、予約等に関する照会

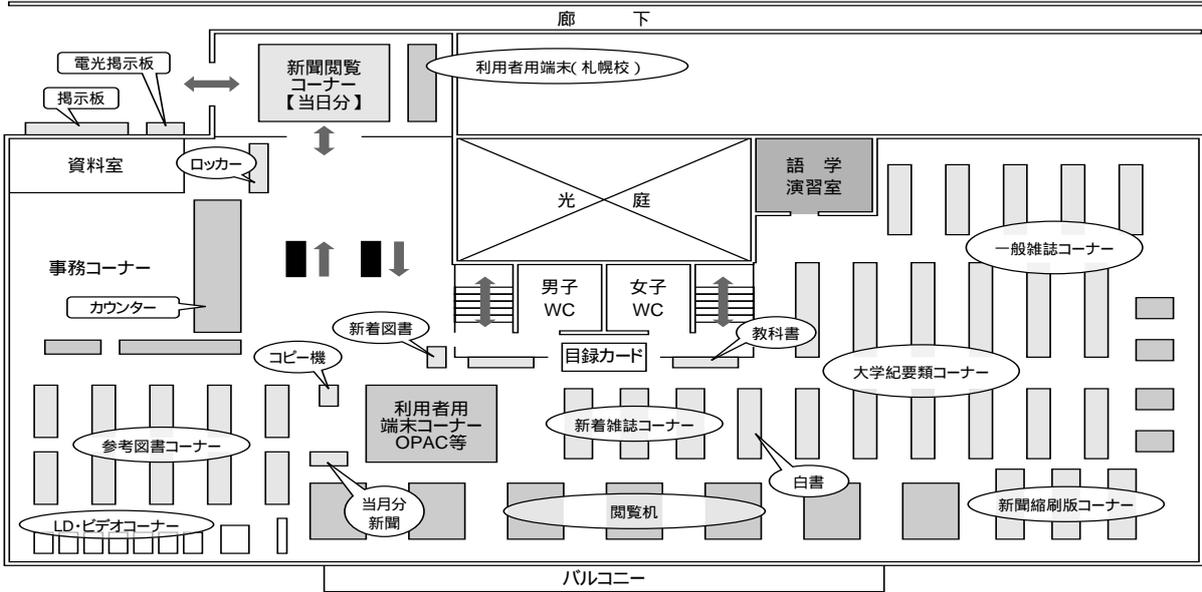
参考係(内線289)→文献調査、他大学の図書館利用や資料の貸出・複写等

館内案内図

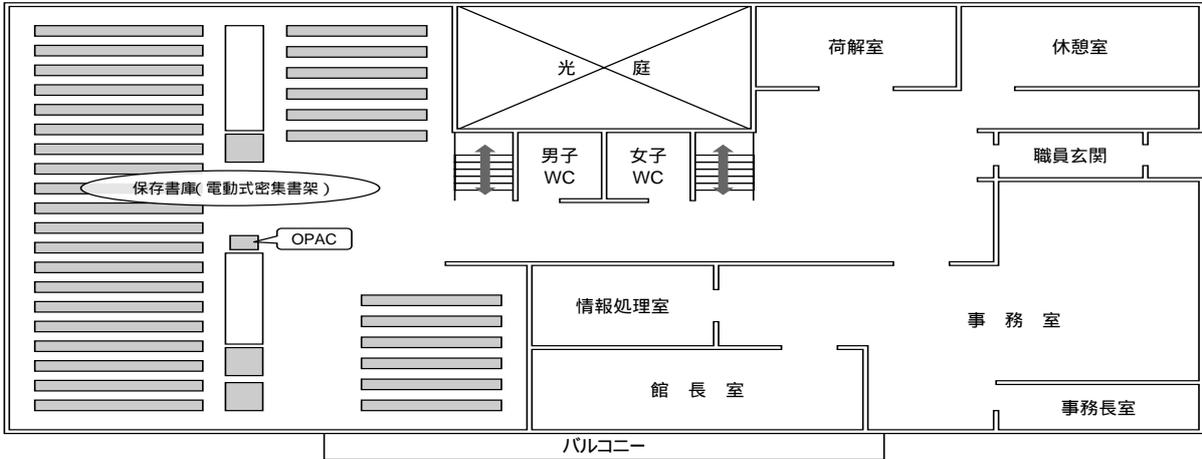
3階



2階



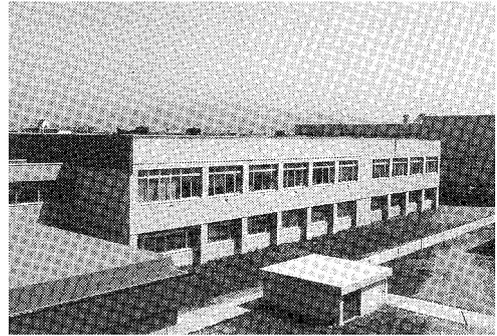
1階



函館分館

Hakodate Campus Library

〒040-8567 函館市八幡町1番2号
TEL(0138)44-4231 FAX(0138)44-4381
E-MAIL toshokan@cc.hokkyodai.ac.jp



開館時間

月～金曜日	9:00～21:00
土・日曜日	9:00～16:00

休業期間中は開館時間が変更になります。掲示でお知らせしますのでご確認ください。

休館日

国民の祝日、本学創立記念日(6月1日)、年末年始、休業期間中の土・日曜日、蔵書点検等作業期間など。

その他必要に応じて臨時休館することがあります。

貸出冊数・貸出期間

対象学生	種類	冊数	期間
学部学生	図書 逐次刊行物 小・中学校教科書	あわせて 10冊	14日間
4年生 (卒論特別貸出)	図書	10冊	30日間
大学院生	図書 逐次刊行物 小・中学校教科書	あわせて 20冊	30日間 14日間 14日間

返却

借りている資料は必ず期限内に返却してください。返却の遅れている資料がある場合は、新たな貸出を受けることができません。

予約

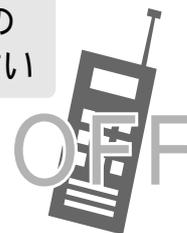
利用したい資料が貸出中のときは、貸出予約をすればその資料が返却され次第、優先的に借りることができます。カウンターに申し込んでください。

他機関の利用

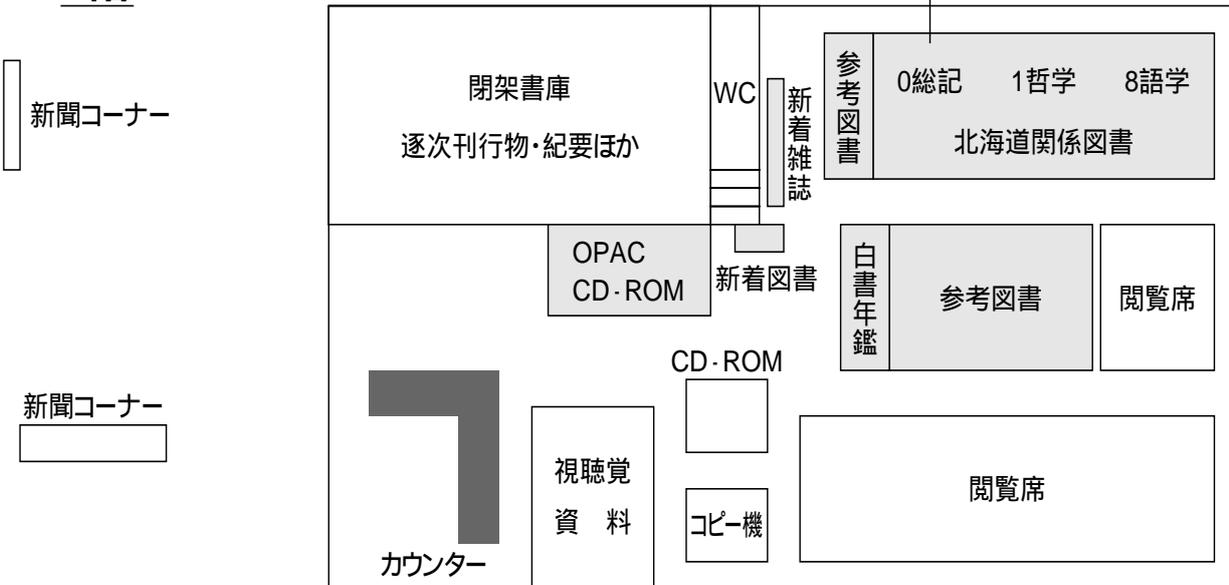
当館で所蔵していない資料を他の図書館等から取り寄せたり、他大学の図書館を利用する場合に必要な紹介状を発行しますので、カウンターへ申し込み願います。

館内案内図

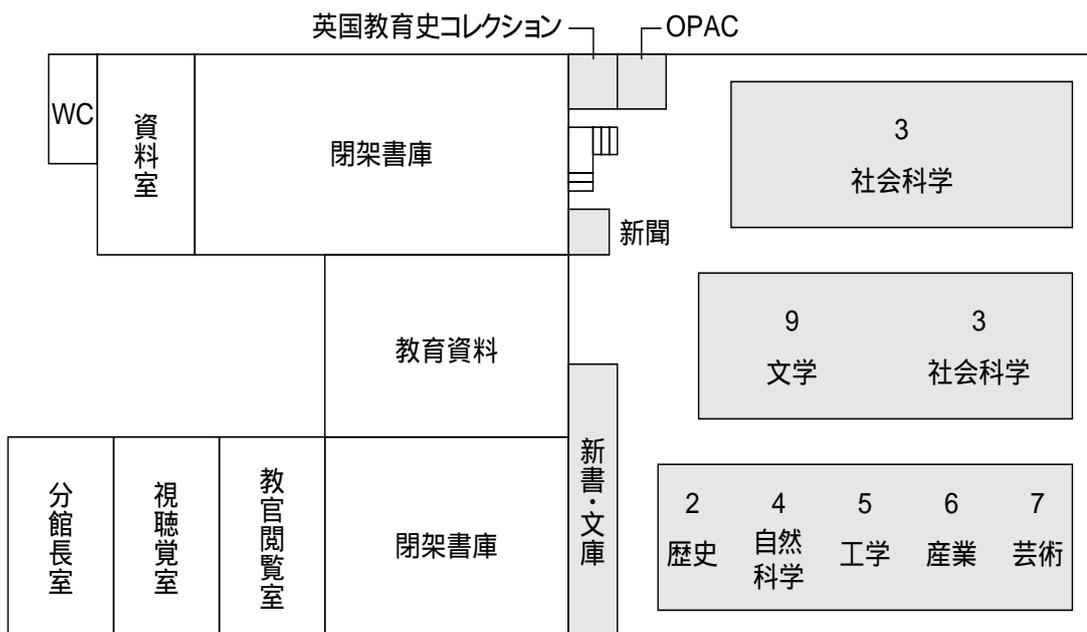
館内での携帯電話の使用はご遠慮ください



2階



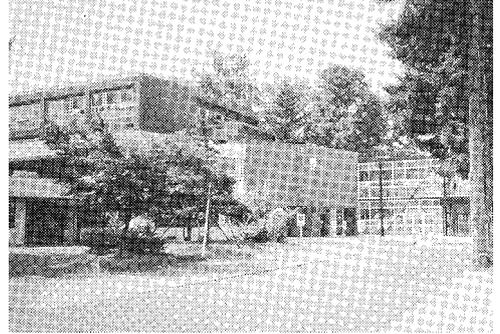
1階



旭川分館

Asahikawa Campus Library

〒070-8621 旭川市北門町9丁目
TEL(0166)59-1234(事務室)・1235(カウンター)
FAX(0166)59-1244
E-MAIL tosho@atson.asa.hokkyodai.ac.jp
URL:<http://www.asa.hokkyodai.ac.jp/office/tosho>



開館時間

平日	9:00~22:00(休業中は16:00まで)
土曜	9:00~16:00

休館日

日曜、国民の祝日、休業中の土曜、年末年始、開学記念日、毎月第3水曜日
(臨時休館については、掲示等でお知らせします。)

貸出冊数・貸出期間

	図書	雑誌	教科書
4年目学生・院生・特別専攻生	20冊・1か月	10冊・2週間	5冊・2週間
1年～3年目学生・科目等履修生	10冊・2週間	10冊・2週間	5冊・2週間
学外者	10冊・2週間	10冊・2週間	

資料の探しかた

OPAC(オンライン目録) で本学の各キャンパス所蔵の資料を探します。

CD-ROM 検索できるCD-ROMには次のものがあります。
雑誌記事索引(国会図書館)・世界大百科事典・世界地図・日本地図
百科年鑑・百科便覧・JICST資料所蔵目録・ERIC・理科年表・Merk Index

インターネット を通じて次のことができます。

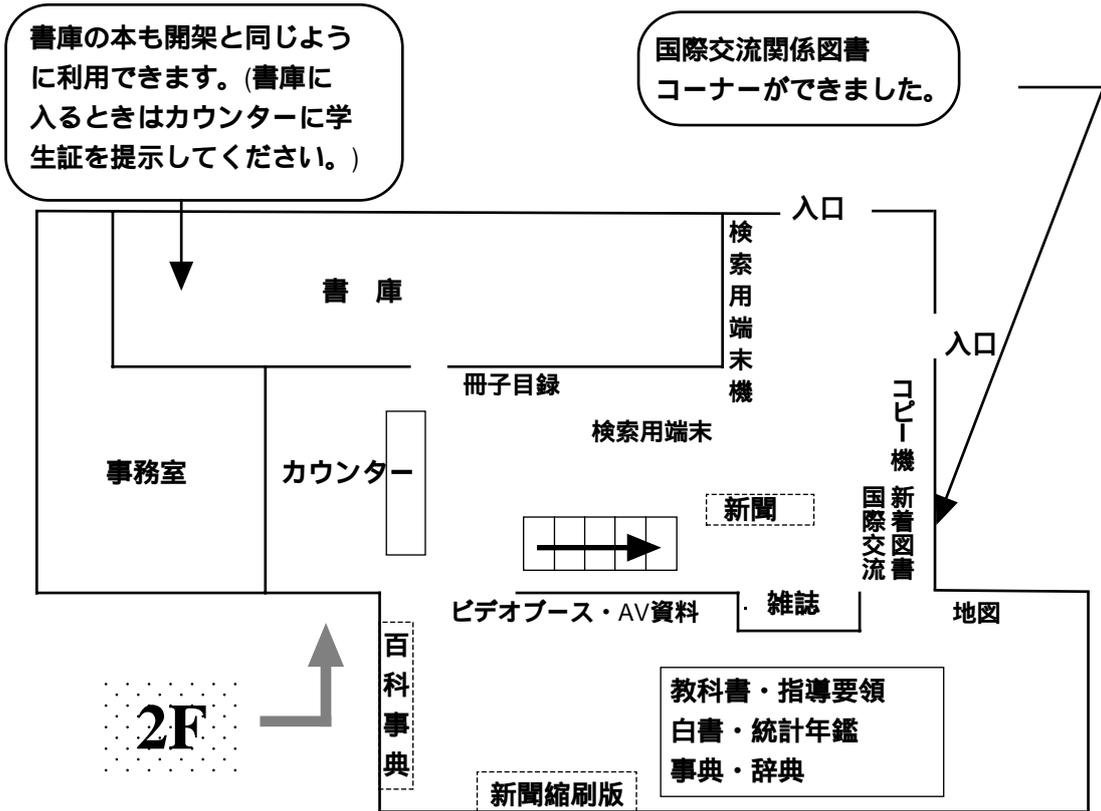
Web-cat(国立情報学研究所の全国データベース)の検索
国会図書館・文部科学省・各省庁等のホームページ・調査報告類の検索等

相互利用

旭川分館にない資料を他の図書館から取り寄せることができます。
他の図書館を利用するための紹介状を発行します。

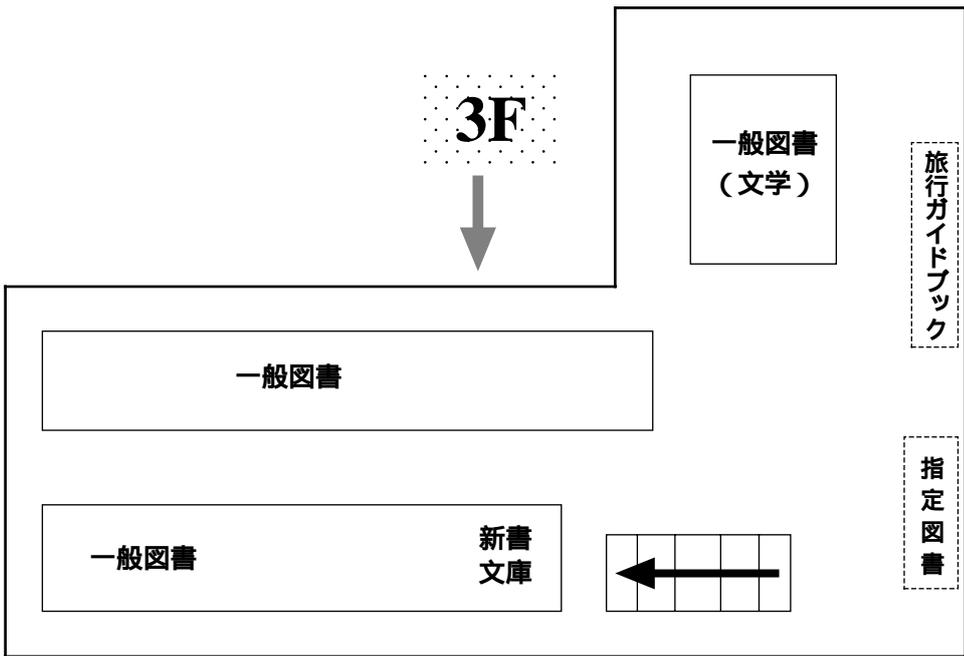
図書館利用についての、疑問・質問遠慮なくお尋ねください。

旭川分館ホームページもご利用ください。



館内案内図

旭川分館ホームページでは館内の配置を立体的に解りやすく見ることができます。
 URL:<http://www.asa.hokkyodai.ac.jp/office/tosho>



釧路分館

Kushiro Campus Library

〒085-8580 釧路市城山1丁目15番55号
TEL(0154)4-3243 FAX(0154)4-3244
E-MAIL tosyo@atson.kus.hokkyodai.ac.jp
<http://www2.kus.hokkyodai.ac.jp/users/library/index.html>



開館時間

授業期間	月～金曜日	9:00～22:00
	土曜日	9:00～16:30
休業期間中	月～金曜日	9:00～17:00

休館日

日曜日、国民の祝日・休日、創立記念日(6月1日)、年末年始、このほか図書館整理・大学行事等による臨時休館があります。掲示、ホームページでお知らせします。

貸出冊数・貸出期間

	期	間	冊	数
学部学生	図書・教科書	14日間	あわせて10冊	
	雑誌	3日間		
	視聴覚資料	7日間		
大学院生(卒業論文のための特別貸出も含む)	図書・教科書	14日間	あわせて20冊	
	雑誌	3日間		
	視聴覚資料	7日間		

資料を借りるには

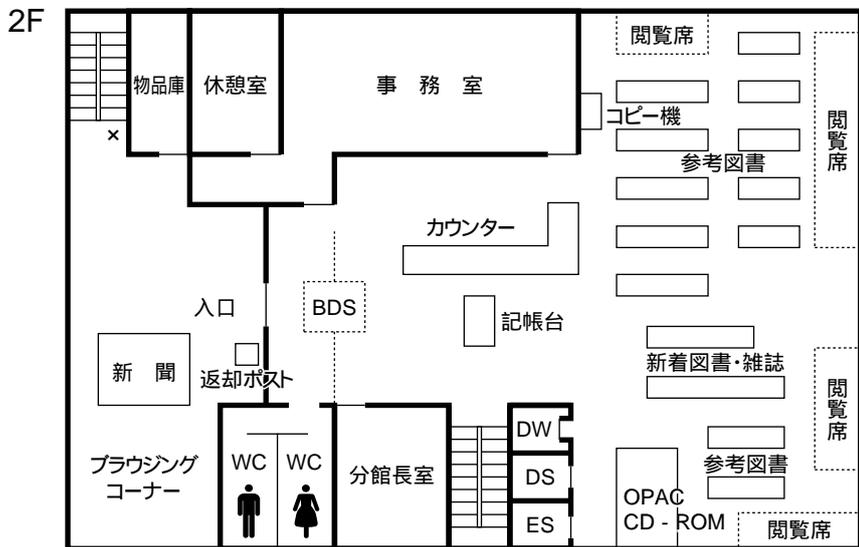
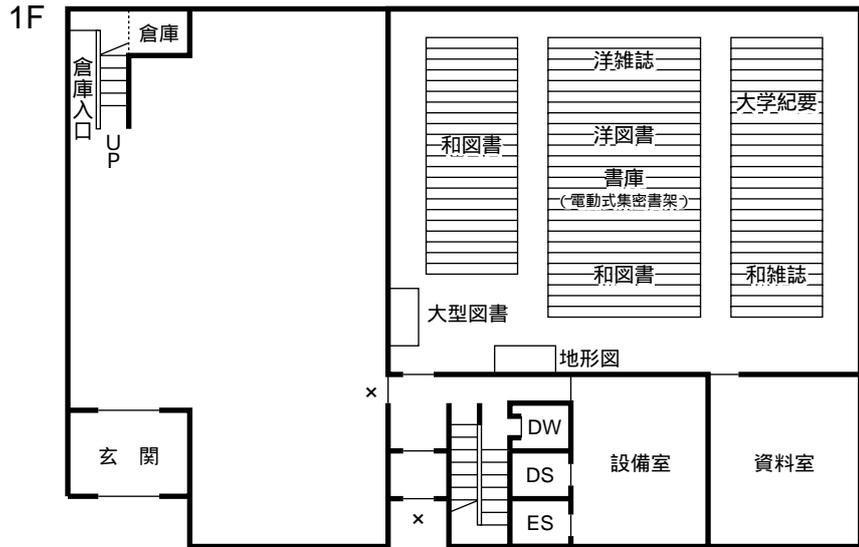
貸出の際には、学生証(学部学生)または図書館利用証(大学院生・学外者)が必要です。

資料を探すには

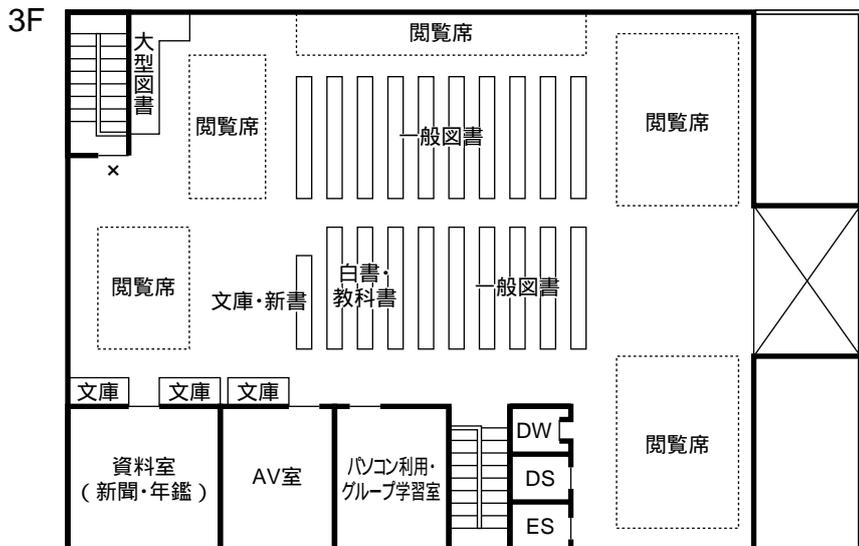
当館所蔵の資料は、蔵書検索システム(OPAC)で検索できます。
又、CD-ROM検索システムでは、雑誌論文等も検索できます。

図書館の利用について、わからないことはカウンター係員にお尋ねください。

図書館案内図



2F閲覧座席数...30席



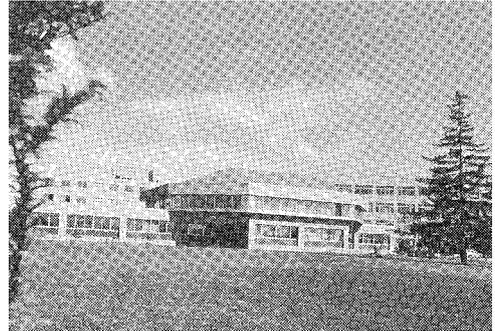
x = 非常口

3F閲覧座席数...120席

岩見沢分館

Iwamizawa Campus Library

〒068-8642 岩見沢市緑が丘2丁目34-1
TEL(0126)32-0240 FAX(0126)32-0253
E-MAIL tosho@iwa.hokkyodai.ac.jp



まず、図書館に行ってみましょう。

入口を入ると図書自動チェック装置(ブックディテクションシステム)が目にはいるでしょう。この装置は貸出の手続きを忘れて出口を通過しようとする、警報のブザーが鳴り、ゲートがロックされてしまうものです。

カバン等の持ち込みは自由です。

それでは、入ってみましょう。

資料別利用ガイド

館内にある資料を紹介しますので、図書館利用にお役立てください。

1 一般図書

NDC(日本十進分類法)により配架されており自由に閲覧できますが、読み終えた後は元の場所に戻してください。

2 参考図書

辞・事典、統計、年鑑、白書等
(貸出禁止)[館外一時貸出可]

3 北海道関係資料

北海道に関する図書を配架しています。

4 指定図書

講義に関連して利用してほしい図書として教官が指定しています。

5 教科書

道内の小学校・中学校で使用されている教科書と、高等学校の一部分の教科書を配架しています。

バックナンバーは、科目ごと更に出版社ごとに配架しています。

6 北海道教育資料

道内(主に空知、胆振、日高管内)の小学校・中学校・高等学校、教育団体等で刊行された出版物を配架しています。

7 パソコン検索

OPAC(オンラインによる蔵書検索)とCD-ROMによる検索(法律判例文献、情報、雑誌記事索引等)ができます。

8 参考資料

書誌的(著書、書名、出版事項等)な情報を得るための書誌、目録、索引等の図書を配架しています。

9 ビデオ・DVDコーナー

ビデオを見たりCD・カセットテープを聴くための装置があります。ヘッドフォンでお楽しみください。

10 新着・参考図書

新着図書、論文・レポートを書くための図書を配架しています。

11 雑誌コーナー

雑誌・大学紀要のバックナンバーは書庫にもあります。

12 洋図書等

参考図書、二次資料等のバックナンバーと、古い洋書があります。

13 和図書

古い和図書があります。(NDCにより配架しています。)

14 大学紀要・洋雑誌

雑誌(誌名のABC順に配架)と大学紀要(大学の五十音順に配架)のバックナンバーがあります。

15 和雑誌

誌名の五十音順に配架しています。

開館時間

平日	9:00~21:00
土・日・祝・休日	9:00~16:00

春・夏・冬季休業中は開館時間が変更になります。休館日はその都度掲示します。

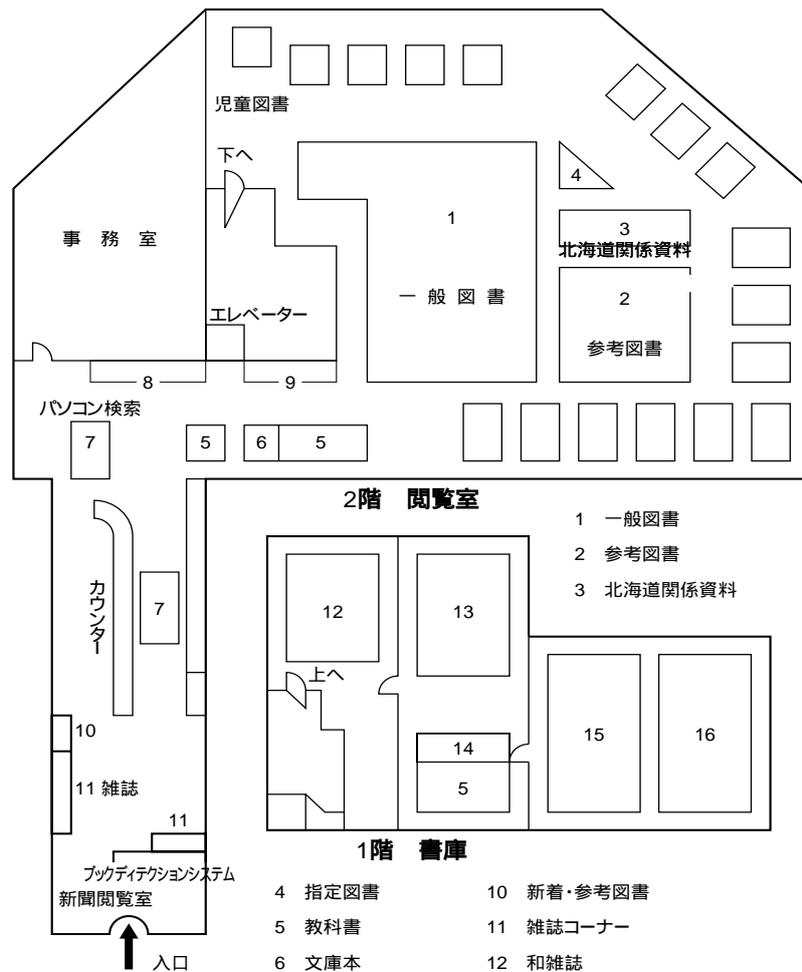
館外貸出について

貸出期間は次のとおりです。

返却期限を過ぎても返却しない利用者は、他の図書の貸出を停止します。

	貸出冊数	貸出期間
学生	10冊	14日間
大学院生・教職員	20冊	30日間

また、上記とは別に教科書は、1人5冊まで1週間の貸出期間です。



図書館に要望・希望がありましたら、カウンターにお寄せください。

- 4 指定図書
- 5 教科書
- 6 文庫本
- 7 パソコン検索
- 8 参考資料
- 9 ビデオコーナー
- 10 新着・参考図書
- 11 雑誌コーナー
- 12 和雑誌
- 13 和図書
- 14 大学紀要
- 15 洋雑誌・北海道教育資料他
- 16 洋図書他

平成13年度 附属図書館からのお知らせ

全館共通	「北海道新聞記事データベース」の利用案内
------	----------------------

各館の備付パソコンから、北海道新聞(1988年7月1日以降)の記事が検索できます。
(平成13年10月1日から運用開始)

全館共通	本学で利用できる「電子ジャーナル」案内
------	---------------------

現在、次の電子ジャーナルが利用できます。(詳細は、各館のホームページを参照ください。)
利用は、附属図書館又は各分館のホームページからアクセスしてください。

- 1 OUP (Oxford University Press) (試験提供)
【試験提供期間】平成13年4月1日～平成15年3月31日
- 2 Wiley InterScience
【利用期間】平成13年12月10日～平成14年12月31日まで
- 3 J-STAGE
【利用期間】平成13年12月10日～

上記の電子ジャーナル以外にも、「試験・トライアル提供」等で利用できることもあります。
その都度、ホームページで案内しますので各館のホームページに注目ください。

中央館	パソコン学習室の設置
-----	------------

中央館3階に、利用者所有のノート型パソコンを持ち込んで使用できる部屋を設けました。
この学習室は図書館資料を利用した学習・研究時にご利用ください。

中央館	「データベース講習会」の実施
-----	----------------

中央館では、「データベース講習会」を実施しています。
ガイダンスの受付は、随時行っていますので是非申込みください。
ガイダンス内容は、・国内雑誌記事の検索方法 ・OPACの検索 等々
詳細は、図書館掲示板等の案内をご覧ください。

函 館 分 館	新 着 書 架 の 設 置
---------	---------------

これまで、ブックトラック2台使用して新着図書を展示していましたが、今回写真のように新着図書用書架を用意することができました。

新着図書コーナーとして、利用しやすくなりましたので、どうぞご利用ください。



釧 路 分 館	「休業期間中の開館日及び開館時間」の変更
---------	----------------------

休業期間中のほぼ全期間を開館します。

休業期間中の開館時間は、月～金の平日 9:00～17:00まで

*教育実習の研究授業期間中の開館時間は、平日(9:00～22:00)、土曜日(9:00～16:30)です。

釧 路 分 館	「3 階 個 室 の 配 置」 変 更
---------	---------------------

図書館資料を利用した学習の便宜を図り、「グループ学習室」・「パソコン利用室(パソコン2台設置、持込みも可)」を設置しましたのでご利用ください。

*グループ学習室は一定の条件を満たす場合とし、カウンターで受け付けします。

釧 路 分 館	「情報検索ガイダンス」の実施
---------	----------------

これまでの新入生ガイダンスに変わり、本年度より随時受付の情報検索ガイダンスを行います。

- 1 OPAC(蔵書検索)の利用法
- 2 求める資料等の情報の検索方法
- 3 文献の収集方法等
- 4 その他

*パソコンを操作しながら行います。

(パソコン初心者もOK。詳細はカウンターへ問い合せください。)

□ 投 稿

図書館で仕事をして —カウンターの中から見た図書館—



玉置 晶子

(札幌校/養護教諭養成課程/4年)

私は3年間、昼間は教育大札幌校の学生、夜や土日は図書館のカウンターで貸し出し業務などの仕事をしていました。けれど、このアルバイトを始めたころははまったくといっていいほど本を読んでおらず、図書館を利用するのも講義でレポート課題のための参考文献探しや、雑誌を読むぐらいでした。しばらく「本を読むこと」からは遠ざかっていたと思います。

アルバイトを始めたころは、知らないことばかりで戸惑いました。いかに図書館を利用していなかったか。検索の仕方も図書館のアルバイトを始めてから知りました。そして私と同じように、意外と図書館のことを知らない人間が多いことに気がつきました。図書の検索の仕方もそうですし、図書館でLDやDVDが見られることを知らなかったり。たぶん4年間を通して、図書館にお世話になったのは卒論の時ばかり……という方もいらっしゃると思います。(もちろんよくいらっしゃる方で、顔見知りになる方もいますが) 図書館を利用しなくても、大して困らないと言われればそうかもしれません。けれどサービスを受ける権利があるうちに有効利用しないことは、少し損だと思いませんか？

私は普通の学生です。けれど、図書館でアルバイトをしていることもあり、友人から図書館のことを色々聞かれたりします。

また、図書館のことについて学生の立場から考えたりすることもあります。気軽に図書館のことを何でも聞ける人間として、周りの友人にとっても便利だったようです。もちろん職員ではありませんから、何でも知っているわけではありませんが。そうしていろいろたずねられるうちに、自分の図書館に対する知識も少しずつ深まっていきました。私の知らないことも、図書館の職員の方とはとても親切に教えてくれました。ですから一般の学生の方も、もっと気軽にわからないことを尋ねればいいのと思うこともありました。

本を読むことは旅行をすることと同じような意味があると思います。新しい価値観にであったり、知識を得たり、現実では体験できないことを疑似体験できたり。本一冊でどこへでも行けるのだから、旅行するよりはるかにお手軽です。しかも図書館ならただです。アルバイトを始めてから、素敵な本にたくさん出会いました。いい本は何年経っても、その価値は変わらないと思います。読みたい本があれば購入希望を出して、買ってもらうこともできます。

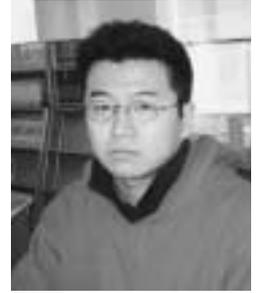
大学生の皆さんには、自分の内面的な世界を、思う存分広げて欲しいと思います。大学時代にはその時間がたくさんあります。その方法の一つとして、とりあえず図書館に行ってみるというのはどうでしょうか。

□ 投 稿

「カウンターに座ると」

脇 坂 文 貴

(函館校 / 学校教育専修 / 大学院 1 年)



2月3月は大学が休みなので図書館を利用する人が少ないのですが、その暇な時期を見計らったかのように「バイトから見た図書館」ということで記事を書くことになりました。時々、「職員さんですか？」と勘違いされますが、僕はバイトです。いい歳ですが、学生です。

さて、みなさんは図書館の仕事というとどんなことをイメージするでしょうか。僕は昨年の春からカウンターに座るようになったのですが、思っていたよりもいろいろな仕事があるので初めのうちは覚えるのが大変でした。本の貸し出しや返却の処理はもちろんのこと、本の配架(返却された本をあった場所に戻す)や利用する人への説明、ときには館内の蛍光灯の交換や古新聞の処理を行います。営業スマイルから肉体労働までを使い分ける、それが図書館の仕事です。このようにたくさんの仕事がありますが、図書館に来る人に気持ちよく利用してもらいたいという点で共通していると思います。

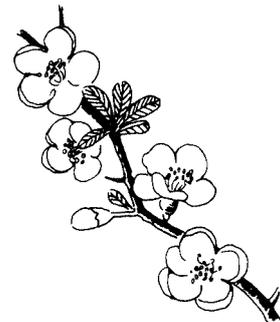
また、カウンターに座っているといろいろな事を考えます。なにげなく貸し出しをしているように見えるかも知れませんが、バーコードをピッピッと読み取りながらいろいろ考えているのです。「この人はレポートをするのかな？」とか、「きっと、あの先生の授業受けているのだな。大変だろうな。」などと借りていく本を見ながら考えています。特に12月から1月にかけては卒業論文に使うために多くの人が本を借りていきましたが、4年生の疲れた表情を見ていると「がんばれ」

とエールを送りたくなったりしました。あの頃ががんばっていたみなさんは、無事に卒業論文をまとめることが出来たのでしょうか。

図書館というと堅くて暗いイメージがあるかも知れませんがそんなことはありません。職員の方も他のアルバイトの学生も明るい方ばかりです。たくさんの人に気分よく利用してもらいたいと思いつつ、今日も返却された山のような本を配架しているのです。

来月からは新年度、函館にも春の便りと共に新入生がやってきます。図書館を利用する人もまた増えることでしょう。同じ学生として気軽に声をかけてくれるとうれしいです。

でも、本の延滞と携帯電話の使用はやめてくださいね。



□ 投 稿

「夜の学生の姿」

近 藤 倫 子・細 川 久 実 子

(旭川校/生涯教育課程健康福祉コース/3年)



私たち図書ガールは、17時から22時まで働いています。働いているというか、ほとんどカウンターに座っているだけなのですが...

旭川校が22時までの夜間開館になったのは、昨年の4月からでした。それまでは、20時に閉館していたので、学生に22時に閉館するということが浸透するまでは、ほとんど利用者がいませんでした。でも、徐々に学生に浸透していき利用者も増えてきました。22時閉館になってからは、20時前の利用者が増え、20時以降に利用する人はいつもの顔ぶれですが、閉館前まで勉強をしているようです。また、20時以降に新聞や雑誌を見に来る人も増えました。その中でも、毎日、スポーツ新聞だけをチェックしに来る常連さんがいたり、腰を据えてじっくり隅から隅まで新聞を読んでいる人もいます。

図書館に来る人は、時期や、その日の天候によって変わってきます。テスト前の1週間は、用意周到な学生達が図書館に集まります。この人たちは、辞典などを片手に勉強しているようで一夜漬けでないことは、確かです。また、レポート提出前になると、同じような本を借りにくる学生たちがいます。即、その日のうちに借りにくる人もいれば、提出前に借りにきているような人もいます。別の光景では、感動を覚えるものがあります。それは、教員採用試験に向けて、仲間同士でつらい勉強を遅くまで励まし合い、楽しみながら、勉強している光景です。卒業論文提出1ヶ月前には、大量に本を借りにくる4年生が何人かいます。果たして

その人はすべてのページに目をとおすことができているのだろうかなど思ってしまいます。そして、借りた本をおもそうに抱えて帰る後ろ姿は、何かに追われ疲れきっている様子がうかがえました。そんな姿を見ると、とてもエールを送りたくなりました。また、書庫に入ったきり2時間ぐらい出てこない人もいます。

夜間ならではの光景もあります。それは、延滞した本を、申し訳なさそうに返却する人もいれば、いかにも、夜間を狙って返却しに来る人もいることです。また、何を目的で使っているのかわかりませんが、インターネットを使う人も多いです。

現在、私たちがカウンターから見る図書館風景は以上のような感じです。2年間夜間の図書館アルバイトをしてきて、図書館を利用する色々な学生の姿を見てきましたが、これからは、さらにもっといろんな人に、いろんな形で図書館を活用して欲しいと思います。



□ 投 稿

「カウンターの中から」

保 科 麻 子

(釧路校／生涯教育課程：社会教育コース 造形文化領域／3年)

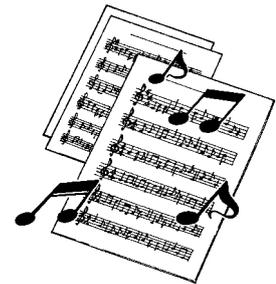


今年の四月で図書館の夜間職員として働き出して二年になります。カウンターに座って本の貸し出しや返却の仕事をしているだけという単純な仕事に最初はやりがいを感じられなかったのですが、仕事に慣れてくると色々な事が目に入るようになり、楽しいと思えるようになってきました。

夜間は日中と比べればあまり人は入りません。しかしカウンター越しに図書館を利用しに来る人をただ見ているだけでも試験前に慌てて勉強しに来る人、レポートの資料を集めに来る人、ちょっと時間が空いたから本でも読もうか、という感じの人など様々な目的を持って図書館に来ているのが見てとれます。最近では頻繁に図書館を利用する人の顔も大分覚ええました。昨年の夏季休業から夜間開館の時間が二時間延びて十時までになりました。そんな遅くまで延長して利用する人などいるのかと考えていたのですが、実際延長が始まってみると利用者が予想以上に多かったのには驚きました。むしろギリギリまで利用する人もいる程で、それだけ図書館の利用価値が向上したと思うと働いている身としては嬉しくもあります。

ところで、図書館で働いていて利用者のマナーについていつも気になることがあります。試験があるのか、レポートの締め切りが近いのか、本の出入りが激しい時期があるのですがそれに伴って図書館の本棚が酷く乱雑になります。夜間開館の仕事中に乱れたところは直すようにしていますが、試験期間はいくら整えても後から後から乱れていき、キリがありません。

自分が勉強するために取り出した本を元の場所に返さず、全然違う場所に戻したり、横の方に積み上げておいたりするのは図書館を利用する上でのマナー違反だと思います。それで他の人が利用したいというときに本がどこかに紛れて見つからなくなることだってあります。図書館は公共の空間です。図書館を利用する人はお互いのために最低限のマナーは守って利用していくべきではないでしょうか。



□ 投 稿

「私 の 発 見」

石 川 貴 那

(岩見沢校／学校教育教員養成課程：外国史研究室／3年)

図書館は私が好きな場所の一つである。その理由としては多種多様な本が揃っている事が挙げられる。毎回ゼミやレポート、その他勉強や娯楽にと図書館は私にとって必要不可欠なものとなっている。

その図書館で時間外の職員として働くようになってから、私はとても懐かしいものを見つけた。幼い頃に読んだ事のある絵本である。きっかけは、ふとしたことで学外利用の方に絵本の場所はと訊かれたことであった。その方を絵本が置いてある書架に案内し、本を探しているとき、目にとまったのがその本だった。何か見覚えのある背表紙。それは間違いなく、幼い頃に見たあの絵本だった。

その絵本は「スーホの白い馬」といい、モンゴルでおばあさんと二十数頭の羊と暮らす、十七歳の少年スーホとスーホの拾ってきた白い馬との友情を描きながら、馬頭琴という楽器の起源を描いたものである。

王さまに、ナーダム(競馬大会)で、白い馬を取り上げられてしまったスーホのもとに、ある晩、白い馬が逃げ帰ってくる。しかし王の追っ手に射られた矢で、白い馬は死んでしまう。

白馬の死に、悲しさと口惜しさでスーホは、幾晩も眠ることができない。ある晩フツと眠りにおちたとき、スーホは白馬の夢を見る。スーホが白い馬をやさしくなでると、白い馬は、スーホに体をくっつけてくる。そしてスーホにこうささやく。

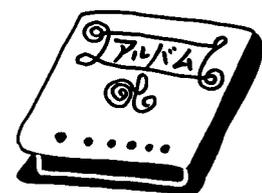
『私は、あなたとずっと一緒です。悲しまないで下さい。それより私の筋や骨を使って琴を作って

下さい。』スーホは目覚めるとすぐに、白い馬が教えてくれたとおりに、尾や筋や骨を使って一つの琴を作り上げる。もちろん、その棹の先には白い馬の顔を彫りつけて。彼は、この琴を弾く度に、白い馬に乗って草原を走り続けた時の気持ちを思いだし、その琴の音はさらに美しく響くのである。

今では馬頭琴は、草原に暮らす遊牧民の一日の疲れを癒す安らぎの音を奏でる楽器となったという話である。子供心にスーホと白い馬との友情が心に響き、なぜか悲しい気分になった事を覚えていたので、何か探していた宝物でも見つけ出したような気分になった。

他にも、「100万回生きた猫」や「スイミー」など懐かしい本がまだまだ図書館にはある。どれも、今読んでも何かしら心に残るものがある本ばかりである。

皆さんも、時にはそんなちょっと懐かしい本を探してみてもどうだろうか。



平成13年度 教職フィルムライブラリー 新収ビデオソフト一覧

これらのビデオ・DVDソフトは、館外貸出はできませんので館内備え付けの機器でご視聴ください。

- ◎日本：その姿と心 video series
[1 巻]: 伝統演劇に見る日本の心と美；歌舞伎・能・文楽 (38分)
[12巻]: 年中行事と冠婚葬祭：日本人の信仰心 (30分)
伊藤忠紙パルプ、1989－1990
(302.1/Ni)
- ◎母と娘とばあちゃんと (32分)
教配、[19－]
(367.3/Ha)
- ◎東映教育ビデオ
薬物に奪われた青春 (22分)
東映株式会社教育映像部、[199－]
(368.8/Ya)
- ◎日本：その姿と心 video series
[7 巻]: 日本の習慣とマナー；日本社会を織りなす心
[11巻]: 働く女性たち：生きがい求めて
B&CL、1990
(302.1/Ni)
- ◎東映教育ビデオ
してみませんかボランティア (20分)
東映株式会社教育映像部、[199－]
(369.1/Si)
- ◎契約と責任：情報を活かせる消費者へのステップアップ (20分)
赤松東、仙波圭子編集、全教図、[19－]
(365/Ak)
- ◎東映教育ビデオ
地域に生きるボランティア (20分)
東映株式会社教育映像部、[199－]
(369.1/Ti)
- ◎東映教育ビデオ
かしこい消費者 (17分)
東映株式会社教育映像部、[199－]
(365/Ka)
- ◎東映教育ビデオ
いじめを考える：今、中学生として (14分)
東映株式会社教育映像部、[199－]
(371.4/Ij)
- ◎東映教育ビデオ
契約と消費者 (20分)
東映株式会社教育映像部、[199－]
(365/Ke)
- ◎東映教育ビデオ
いじめを考える：加害者の心の弱さ (14分)
東映株式会社教育映像部、[199－]
(371.4/Ij)
- ◎働く子どもたち：私たちの声を聞いて！
ブラジルの児童労働 (35分)
サンドラ・ヴェルネッキ監督、アジア太平洋資料センター、1998
(366.38/We)
- ◎東映教育ビデオ
くもりのち晴れ (40分)
東映株式会社教育映像部、[199－]
(371.4/Ku)

◎東映教育ビデオ

勇気ある選択 (25分)

東映株式会社教育映像部、[199-]
(371.4/Yu)

◎教師の行うカウンセリング

1巻：教師のカウンセリングマインド (30分)

2巻：カウンセリングマインドを生かした個別指導 (39分)

3巻：日常における個別指導例 (44分)
ジェムコ出版、[199-]

(371.43/Ky/1-3)

◎放送大学ビデオ教材

教育の歴史('00)(全巻45分)

1巻：教育の歴史とは：教育史入門

2巻：近代教育のはじまり：明治維新と教育

3巻：教育勅語の成立

4巻：学問と教育の制度化

5巻：学校と空間

6巻：学校と時間

7巻：教科書とは 1

8巻：教科書とは 2

9巻：ノート・鉛筆・謄写版

10巻：服装と教育 1

11巻：服装と教育 2

12巻：試験と選抜

13巻：教育における「内」と「外」 1

14巻：教育における「内」と「外」 2

15巻：象徴と教育

放送大学教育振興会、1999

(372.1/Ky/1-15)

◎東映教育ビデオ

悩める思春期：親は何も知らない (31分)

東映株式会社教育映像部、[199-]
(374.9/Na)

◎東映教育ビデオ

タバコの煙は死の煙 (21分)

東映株式会社教育映像部、[199-]

(374.9/Ta)

◎ビクターサイエンスシリーズ

DVD理科データベースaccess：生物の神秘と科学技術 (全巻26分)

1巻：シカから学ぶ／森林の保護

2巻：ミミズから学ぶ／土づくり

3巻：マスから学ぶ／水質の管理

4巻：ビーバーから学ぶ／水害の防止

5巻：ウシから学ぶ／栄養素のはたらき

6巻：ブタから学ぶ／食事と衛生

7巻：ヒルから学ぶ／血液の成り立ち

8巻：キリンから学ぶ／血液の循環

9巻：カエルから学ぶ／皮膚の機能

10巻：テントウムシから学ぶ／色彩の効果

11巻：オオカミから学ぶ／にのいの役割

12巻：アリから学ぶ／情報の伝え方

13巻：オウムから学ぶ／会話のしくみ

14巻：細菌から学ぶ／小型化の秘法

15巻：ウマから学ぶ／エンジンの発達

16巻：ネコから学ぶ／運動とバランス

17巻：陸ガメから学ぶ／囲いの丈夫さ

18巻：クモから学ぶ／織り方と強度

19巻：ハチドリから学ぶ／静止飛行の技術

20巻：コウモリから学ぶ／超音波の利用

ビクターエンタテインメント、2000

(375.42/Ac/1-20)

◎絵を描く子どもたち：美術鑑賞ビデオ(40分)

岩波映画製作所制作、光村教育図書(発売)
[19-]

(375.72/Iw)

◎東映教育ビデオ

NO! と言うのも親の愛 (30分)

東映株式会社教育映像部、[199-]
(379.9/No)

◎Maruzen audiovisual library.

素晴らしいサイエンスの世界

- | | |
|--|--|
| 1 卷：独楽とスピン (29分) | ◎トニー・アウスラー映像作品 |
| 2 卷：「コリオリの力」って何? (24分) | Selected works I (34分) |
| 3 卷：ベルヌーイの定理 (29分) | Grand mal (22分) |
| 4 卷：不幸な猿：放物運動と落下運動(29分) | Joyride TM (14分) |
| 5 卷：熱の不思議 (30分) | Son of oil (16分) |
| 6 卷：エンジンと逆エンジン (31分) | Sucker (5分) |
| 7 卷：「エントロピー」って何? (27分) | Diamond : the 8 lights (Sphere if influence) |
| 8 卷：静電気の不思議 (30分) | (53分) |
| 9 卷：磁気の世界 (30分) | Tony Oursler, New York : Electronic |
| 10 卷：生活の中の電磁波 (30分) | Arts Intermix, 東京：ワタリウム美術館(発売), [2002] |
| 11 卷：身近な半導体 (29分) | (708/Ou) |
| 12 卷：赤い星と青い星：ドップラー効果 (27分) | |
| 13 卷：四次元時空 (29分) | ◎渡辺一樹とステファノ・マンテガッツアの最新カービングスキー・テクニク (45分) |
| 14 卷：原子に触る (27分) | スキージャーナル、2000 |
| 15 卷：定常波の秘密 (30分) | (784.3/Wa) |
| 大槻義彦他編集、丸善、1999 (420.8/Su/1-15) | |
| ◎Physical chemistry. | ◎ビデオ講座日本語 |
| 1 : Yields and rates. (25分) | 5 卷：敬語1/尊敬語 (18分) |
| 2 : How do molecules react? (25分) | 6 卷：敬語2/待遇表現 (12分) |
| 3 : Reaction mechanisms : 1 Hydrolysis. (24分) | 9 卷：やりもらいの表現1 (18分) |
| 4 : Reaction mechanisms : 2 Enzyme catalysed hydrolysis. (23分) | 10 卷：やりもらいの表現2 (25分) |
| VC:Electrochemistry. (25分) | 11 卷：他動詞・自動詞 |
| BBC Television, Open University Production Center/producer, Barrie Whatley GEMCO, 1984-85 (431/Ph/1-4, VC) | 12 卷：使役2/許容使役 |
| | 氏家研一企画・構成/東京書籍制作、東京書籍、1988-89 (810.7/Uz) |
| ◎赤ちゃんから学びとろう! : 母と子の生活記録 | ◎映像資料 NHK特集名作100選 |
| Part.1 : 2ヶ月~6ヶ月 (82分) | 妻へ飛鳥へそしてまだ見ぬ子へ (50分) |
| Part.2 : 8ヶ月~10ヶ月 (74分) | NHK編、NHKサービスセンター |
| Part.3 : 12ヶ月~15ヶ月 (83分) | 1989 (916/Nh) |
| 子どもの医学協会、2001 (599/Ak/1-3) | |

ありがとうございました～教職員著作物受贈一覧～

(敬称略、50音順)

◎白井 博

- ・アメリカの学校文化 日本の学校文化：学びのコミュニティの創造
(認識と文化；9)
白井博著 金子書房 2001.6 309p (札)

◎内田 和浩

- ・「自治体社会教育」の創造
(叢書 地域をつくる学び)
内田和浩著 北樹出版 2001.6
206p (旭)

◎袁 克勤

- ・アメリカと日華講和 : 米・日・台関係の構図
袁克勤著 柏書房 2001.3 282p (札)

◎大津 和子

- ・グローバルな総合学習の教材開発
大津和子著 明治図書 1997.2 146p (釧)
- ・テキスト国際理解
大津和子他 国土社 1997.5 188p (釧)
- ・国際理解重要用語300の基礎知識
大津和子他編 明治図書出版
2001.12 318p (函)

◎奥野 亮輔

- ・金工の親父
奥野亮輔著 コレール社 1986.2 302p
(岩)

◎笠間 浩幸

- ・〈砂場〉と子ども
笠間浩幸著 東洋館出版社 2001.10 200p
(札、函、旭、釧、岩)

◎門脇 正俊

- ・環太平洋へき地の教育と遠隔教育システム
門脇 正俊他 北海道教育大学僻地教育研究
施設 2000.3 152p (釧)

◎北澤 一利

- ・「健康」の日本史
北澤一利 平凡社 2000.12 235p (釧)

◎酒井 多加志

- ・魅力ある地理教育－ユニークな授業とその教育理論－
秋本弘章他 二宮書店 1999.6 239p (釧)
- ・北海道－地図で読む百年－
平岡昭利他 古今書院 2001.5
163p (釧)

◎佐々木 馨

- ・アイヌと「日本」：民族と宗教の北方史
佐々木馨著 山川出版社 2001.11 246p
(札、函、旭、釧、岩)

◎佐々木 茂喜

- ・華麗に老いる
佐々木茂喜著 岩手日報社 2000.7 171p
(札)

◎芝木 美沙子

- ・最新看護学：学校で役立つ看護技術
(養護教諭必携シリーズ No.3)
中桐佐智子他編 芝木美沙子執筆 東山書房
2001.3 291p (函、旭、釧、岩)

◎杉浦 清志

- ・西行と兼行：乱世を生きる知恵(ウエッジ選書)
小松和彦・杉浦清志他著 ウエッジ
2001.10 217p (函)

◎玉井 康之

- ・学校の評価活動
－学校と子どもの新しい評価－
佐野金吾編 教育開発研究所
2001.3 223p (釧)

- ・教育評価読本：教育課程審議会答申の徹底理解
井上正明他 教育開発研究所 2001.4 242p
(釧)
 - ・重視される組織運営能力
(学校管理職スキルアップ講座 2)
岡東壽隆他 教育開発研究所 2001.7 247p
(釧)
 - ・環境保全から地域創造へ
－霧多布湿原の町で－
鈴木敏正他 北樹出版 2001.10 191p
(釧)
 - ・高めたい地域・家庭と連携する力
葉養正明他 教育開発研究所 2001.11 239p
(釧)
- ◎田村 光規
- ・英語音声の研究：a study of english sounds.
田村 光規 光明社 2001.10 279p
(函、旭、釧、岩)
- ◎戸田 まり
- ・ストレスと健康(健康科学シリーズ：4)
田中豪一・戸田まり共著 三共出版
1998.3, 104p (札)
- ◎夏井 春喜
- ・中国近代江南の地主制研究：租棧関係簿冊の分析(汲古叢書 32)
夏井春喜著 汲古書院 2001.12 531p(札)
- ◎氷見山 幸夫
- ・Lans Use/Cover Changes in Selected Regions in the World. Volume I. Editors : Yukio Himiyama, etc.
IGU-LUCC 2001.11 87p (札、旭)
 - ・Land Use and Land Cover Change.
氷見山 幸夫他 Seoul National University
2001.9 179p (釧)
- ◎三橋 功一
- ・授業論を基礎とした授業設計支援システムの開発
三橋功一著 北海道教育大学函館校 2001.3
30p (岩)
- ◎宮崎 正勝
- ・鄭和の南海大遠征
宮崎正勝 中央公論新社 2001.5 272p
(釧)
 - ・鉄道地図から読みとく秘密の世界史
宮崎正勝監修 青春出版社 2001.10 195p
(釧)
 - ・HAYAWAKARI TOYOSHI.
－韓国語－
宮崎正勝 M&B 2001.9 337p (釧)
- ◎吉崎 祥司
- ・徹底批判「国民の道徳」
浜林正夫著 吉崎祥司執筆 大月書店,
2001.6 300p (岩)

受贈館略号

(札) 附属図書館 (函) 函館分館 (旭) 旭川分館 (釧) 釧路分館 (岩) 岩見沢分館

附属図書館ホームページの案内 (トップページ: 平成14年2月現在)

下図のように、各館ホームページを作成しています。各館の案内、図書館関係の情報を提供しておりますので、ぜひご利用ください。館報(69号～)もホームページから見れます。

